

// 会社の概要 (2019年11月30日現在)

商号 アルテック株式会社
設立年月日 1976年5月15日
資本金 5,527,829千円
従業員数 136名(グループ全体414名)
所在地 東京都中央区入船二丁目1番1号
住友入船ビル2階

// 役員 (2020年2月27日現在)

代表取締役社長 張 能 徳 博
取締役常務執行役員 阪 口 則 之
取締役常務執行役員 陶 山 秀 彦
取締役常務執行役員 池 谷 壽 繁
取締役執行役員 井 上 賢 志
社外取締役 宮 本 康 廣
社外取締役 荒 井 敏 明
社外取締役 中 尾 光 成
常勤監査役 藤 田 清 貴
社外監査役 石 川 剛
社外監査役 豊 島 絵

執行役員 山 岸 利 光
執行役員 于 勇
執行役員 山 根 清 秋
執行役員 野 上 彰
執行役員 澁 谷 博 規

// 株式の状況 (2019年11月30日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株
発行済株式の総数 19,354,596株
株主数 6,375名
大株主

株主名	持株数	持株比率
	株	%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,187,900	7.21
竹内正明	915,000	5.55
株式会社三菱UFJ銀行	505,920	3.07
関西チューブ株式会社	485,000	2.94
共同印刷株式会社	432,900	2.63
株式会社アルミネ	391,000	2.37
村永八千代	376,576	2.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	357,000	2.17
由利和久	350,276	2.13
有賀洋	339,600	2.06

(注) 1. 当社は、自己株式2,881,158株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
2. 持株比率は、自己株式2,881,158株を除いて計算しております。

// 株主メモ

事業年度
定時株主総会
期末配当金受領株主確定日
中間配当金受領株主確定日
株主名簿管理人
(特別口座の口座管理機関)
同連絡先
(郵便物送付先)

毎年12月1日から翌年11月30日まで
2月
11月30日
5月31日(中間配当を実施する場合)
三菱UFJ信託銀行株式会社

〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711(通話料無料)
電子公告により当社のホームページ
(<https://www.altech.co.jp/>)に掲載します。
ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告が
できない場合は、日本経済新聞に掲載します。

公告の方法

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



この冊子は環境への配慮のため、FSC森林認証紙と植物油インキを使用しています。

第44期 報告書

2018年12月1日
～2019年11月30日



ALTECH
アルテック株式会社

証券コード：9972

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第44期（2018年12月1日から2019年11月30日まで）のアルテックグループの営業の概況についてご報告申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、台風等の大きな自然災害が相次いだ中で輸出や機械設備投資等に弱さが見られたものの、各種の経済・金融政策を背景に緩やかな回復基調となりました。一方、海外においては、中国経済の減速、米中間の通商問題や英国のEU離脱の行方等、引続き経済全般に不透明感が残る状況で推移しました。

このような市場環境の下、当社グループは、2017年1月に策定した2021年11月期を最終年度とする中期経営計画の達成に向けて、商社事業においては、収益機会の拡大、収益力の更なる向上および持続的成長を実現する人材・組織力の強化に取り組んでまいりました。また、プリフォーム事業においては、主要市場である中国の経済成長鈍化や原材料価格の変動リスク等が高まる中で、グループ横断的な品質維持向上活動を行うことで収益力の更なる向上に努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高14,562百万円（前期比10.1%減）、営業利益610百万円（前期比12.9%減）、経常利益587百万円（前期比18.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益509百万円（前期比12.7%減）となりました。（セグメント別）

商社事業につきましては、自律走行型搬送用ロボットや医療・医薬関連の大型機械等の販売が増加したものの、印刷包装関連機械等の販売が減少し、前期に比べ減収減益となりました。

その結果、売上高は9,078百万円（前期比9.3%減）、セグメント利益は590百万円（前期比17.6%減）となりました。

プリフォーム事業につきましては、長梅雨の影響等により飲料用プリフォームの販売数量が減少し減収となったものの、生産性の向上や原価低減に取り組んだこと等により増益となりました。

その結果、売上高は5,518百万円（前期比11.9%減）、セグメント利益は159百万円（前期比6.5%増）となりました。

引き続き株主の皆様には一層のご支援を賜りますよう、何卒宜しく申し上げます。

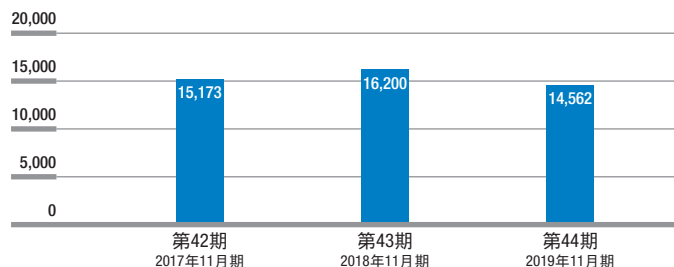


2020年2月
代表取締役社長

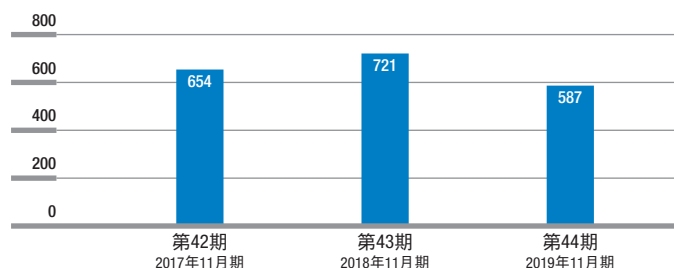
張能 徳博

連結業績ハイライト

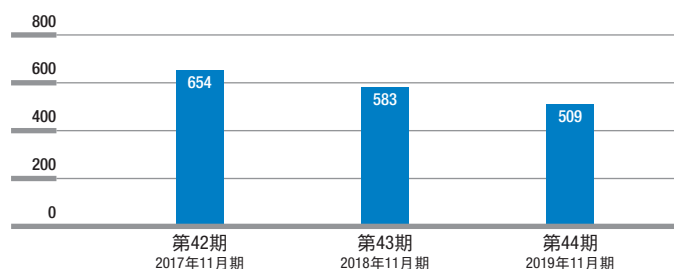
売上高（単位：百万円）



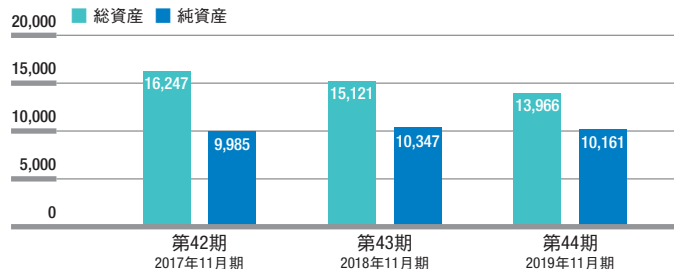
経常利益（単位：百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益（単位：百万円）



総資産／純資産（単位：百万円）



トピックス

【国際社会で高まりを見せている“SDGs（持続可能な開発目標）”】

国内でもSDGsに対する認識の高まりによって、企業の持続的な成長に関する意識も高まりを見せています。当社も多種多様な商品を取り扱う専門商社としてSDGsに代表される社会課題（17の目標）に向き合っており、事業を通じてステークホルダーの期待に応えていくことで、環境問題や社会問題の解決に貢献してまいります。

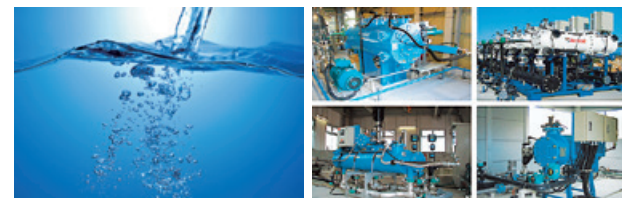
《持続可能な環境》

● すべての人々に安全な水を提供する

水は生命の源であり、全産業の根幹を支える最も重要な資源です。限りある水資源を大切に、効率の良い「ろ過」によって省エネルギーと環境負荷の低減を両立させます。

—世界最先端のろ過技術で、良質で安全な水を提供する—

常に考え、産業の発展と人々の暮らしに貢献してまいります。当社が取り扱う最小10ミクロンのろ過精度に画期的な自動洗浄方式を採用した「フィルトマット自動洗浄ろ過装置」は、洗浄力を極限まで高め、同時に排水量の低減を実現し、環境負荷の低減、管理コストの削減、安全で安定した水量の確保を可能にしました。あらゆる種類の原水を効率的にろ過することで社会に貢献することを目指してまいります。



【関連性の深い17の目標】



《持続可能な経済》

● 強靱なインフラを整備し技術革新の拡大を図る

物流・製造現場等では、少子高齢化による労働力・人手不足や業務効率化の改善が深刻な問題となっています。当社が取り扱う人の代わりに荷物を搬送する「自律走行型搬送ロボット」や、モノの保管の効率化を実現する「自動収納庫システム」は、労働力を増やすことなく施設内の生産性を向上させることで社会に貢献することを目指してまいります。



【関連性の深い17の目標】

